

発行—2012年2月29日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

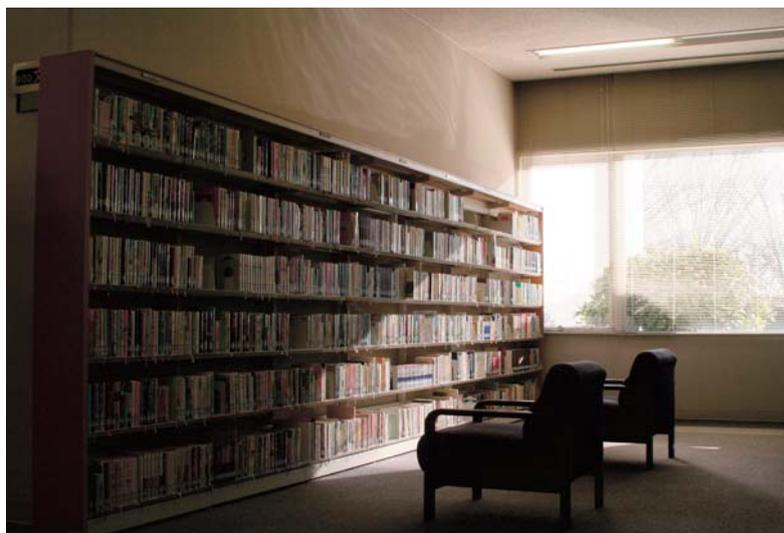
編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7178



群馬県立 県民健康 科学大学



Gunma Prefectural College of Health Sciences



CONTENTS

- 研究会報告 平成23年度第1回大学図書館研究会 — 2
- トピックス ————— 11
- 第9回群馬県図書館大会・編集後記 ————— 12

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成23年度第1回

テーマ：「目録の基礎と将来」

日時：平成23年9月6日（火）13時30分～16時30分

場所：高崎商科大学 2号館2階222教室

参加者：32名（大学図書館15名、公共図書館12名、高校図書館5名）

講演：「目録の基礎と将来」 日本図書館協会 目録委員会委員 古川 肇 氏

【概要】 ネットワーク情報資源の爆発的な増加と、目録自体の電子化がともに進行する昨今、さらにグーグルなどの検索エンジンが目録の強力なライバルとして普及しつつある。このように目録は未曾有の大きな試練の渦中にあるが、これは旧弊を断ち切り飛躍する好機でもある。目録の構造と機能を改めて確認し、最近の動向を展望し、さらに今後進むべき方向の一端を述べて、転換期の中で各自が資料組織の在り方を考察するための一助としたい。



古川 講師



末松 会長



淵上 学長



講演会風景



質疑応答

参加者の意見等

古川講師はこれまで、日本図書館協会目録委員会の委員として、日本目録規則(NCR)の改訂作業に取り組み続けてこられました。NCRは、1987年版刊行以来、20年以上が経過し現在までに3度の改訂が行われています。委員会では、国際標準（新しい概念モデルFRBRに基づく、AACR2に代わる国際的目録規則RDA）に合わせつつ日本で必要な規程を盛り込むこと、及びウェブ環境に適合した目録規則とすることの2点を目標に、「201X版」を視野に改訂作業を進めておられるとの説明がありました。

目録は図書館が日々蓄積してきた「財産」と言えるものにも関わらず、正面から向き合うことは稀です。「なかなか細かいことを気にできず、目をそむけがちな日常のなかで、改めて目録の今後について、媒体の多様化や書誌構造の概念等、様々な業務上、作業場の問題点を考えることができた」とは、参加者の感想のひとつでした。

<レジュメ>

目録の基礎と将来

古川 肇 (JLA目録委員会委員)

目次

- 序論 目録の基本的な構造と機能 - 目録とは要するにどのようなものか -
本論 これからの目録 - 次世代目録へ向けて -

序論 目録の基本的な構造と機能 - 目録とは要するにどのようなものか -

- 目録… 1 または複数図書館の所蔵資料に関する記録（書誌的記録＝記述＋標目＋所在記号）とそれへ案内する参照の集合。各種の標目を検索手段とし、所在記号で資料の所在位置を示して、利用者による資料の発見に資する道具。
- 目録に関する以下の数組の対(ついで)概念（対立概念）の偏らない理解が肝要である。

1. 版と著作

- 版 (edition) … 目録作業の対象。改訂版、増補版 | 大活字版、皮装丁版、携帯電話版等々。一般に刷以下は区別せず、複本として扱う。
- 著作 (work) … 知的・芸術的創造の成果。

2. 記述と標目

- 記述… 資料の身代わり。資料に関する諸情報を抽出して、順序付けし構造化したもの。本タイトル、責任表示等の情報の集合。版を対象に転記の原則により記録する。
- 標目… 記述の見出し（複数）。アクセスポイント。書誌的記録の検索の手がかり。記述を尊重しながらも、カタログガー（目録作業）が調査に基づき判断して付与する。タイトル標目、著者標目、主題標目（件名・分類標目）の各種。
- 標目相互の軽重に関して、基本記入方式と等価標目方式がある（英米は前者、日本は後者）。
主題目録内の排列順 基本記入方式：主題標目、基本記入標目、本タイトル
等価標目方式：主題標目、本タイトル

3. 識別機能と集中機能

- 識別機能… 特定資料の所蔵の有無を知ることができる機能。記述が主な拠り所。
- 集中機能（本日のキーワード）… ある条件に合致する所蔵資料を全て検索できる機能。具体的には、特定著者の諸著作、特定著作の諸版、特定主題の諸著作・諸版を全て知ることができる機能。標目

のみが拠り所。

- 典拠コントロール (authority control) …集中機能を実現するための標目の維持管理。
同一実体ごとに統一標目 (単一とは限らない) を設定した上で、同一実体の全名称 (統一標目とそれへの参照) を包括して典拠レコードとして維持管理する。
- タイトル標目の典拠コントロール…特定著作の諸版を集中する (統一タイトル)。日本では普及していない。
統一タイトル: 千一夜物語 | 参照: アラビアン・ナイト、千夜一夜物語
- 著者標目の典拠コントロール…異なる実体を確実に識別した上で、各々を集中。これだけは普及している。
スズキ, キヨシ (1906- 教育心理学) | スズキ, キヨシ (1906- 工芸家) | スズキ, キヨシ (1907-)
- 件名標目の典拠コントロール…特定の主題に関する資料の書誌レコードの集中。件名標目の付与自体が普及していない。
統制語: 図書 | 参照語: 書籍、書物、本
- NACSIS-CAT では著者だけを典拠コントロールの対象とし、無著者名古典などを除くほとんど全てのタイトルと全件名は対象外なのが実情。集中機能が十分に実現しているとは評しがたい。
- 集中機能はなぜ重要か。…資料の利用度を高めるため。即ち、代替資料による閲覧、選択による閲覧、網羅的な閲覧を可能とする。
原著: The Catcher in the Rye (Salinger 著)
翻訳: ライ麦畑でつかまえて (野崎孝訳) | キャッチャー・イン・ザ・ライ (村上春樹訳)

4. セマンティックス (意味論) とシンタックス (構文論)

- セマンティックス…記述を構成する個々の書誌的事項 (エレメント) の定義づけ。
- シンタックス…書誌的事項の組み合わせの順序と区切り方。「ISBD 区切り記号法」は記述のための文法。
- 従来の目録規則は必ず双方を規定したが、ダブリン・コア* はセマンティックスのみを規定。
*メタデータの国際標準。メタデータとは、元来はネットワーク情報資源 (後述) に関する構造化されたデータのことであるが、「目録も一種のメタデータである。」という言い方がされるときもある。

5. 集中目録作業と分担目録作業

- 自館目録作業から何らかの共同作業へ…作業の効率化と、総合目録の提供。
- 集中目録作業…中央館が一括作業。JAPAN/MARC の頒布など。民間MARC の頒布はこれに準じる。
- 分担目録作業…参加館が対等に作業。NACSIS-CAT などの書誌ユーティリティの総合目録データベースへ登録。

本論 これからの目録 –次世代目録へ向けて–

1. 資料の変化

- ・複製や媒体変換の進歩による、同一著作の媒体の多様化、同一著作の版の増加、大量のテキストを重層的に含む資料の増加。
- ・電算写植やDTPの出現による版相互の連続化。
- ・リモート・アクセスの資料（パッケージ型の電子資料*）の出現および触れることができない資料（ネットワーク型の電子資料、「ネットワーク情報資源」）の出現…所蔵資料と非所蔵資料との境界の消滅、内容と容器との固着から容易な分離へ、更新資料**の増加、刊行資料と非刊行資料の区別が困難。

* コンピュータを使用して内容を読み取る資料。

** 「更新により内容に追加、変更はあっても、一つの刊行物としてのまとまりが維持されている資料。（中略）加除式資料、ウェブサイト、データベースなどがある。」(NCR)

- ・ただし、大半の現象は古くから存在していたことも事実である。それが軽視できないほどの段階に達したというのが実情。

2. 情報環境の変化

- ・検索エンジン（Google など）の出現…その急速な普及に伴う利用者の目録離れ。
- ・目録自体の電子化…カード目録からOPACへ、そしてウェブOPACへ。単なる移行ではなく、電子資料の特徴を活用した目録の在り方が問われる。

3. 目録に関する危機の認識と対策

- ・危機の認識と打開策の表明
米国議会図書館のワーキング・グループ…On the Record (2008)¹
国立国会図書館…「国立国会図書館の書誌データの作成・提供の方針 (2008)」(2008)
NII (国立情報学研究所) …「次世代目録所在情報サービスの在り方について (最終報告)」(2009)
- ・新しい目録 (次世代OPAC) の模索²
新機能…レレバンス・ランキング、ファセット型ブラウジング、レコメンデーションなど (本日は省略)。
- ・現行目録規則の部分的改訂 (20世紀を除く) による対処

1 原文：<http://www.loc.gov/bibliographic-future/news/lcwg-ontherecord-jan08-final.pdf>

邦訳：「書誌コントロールの将来に関する米国議会図書館ワーキンググループ報告書」2009 58p

http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/pdf/ontherecord_jp.pdf

2 詳細は、渡邊隆弘「次世代OPAC」への移行とこれからの目録情報『図書館界』61(2):146-159 (2009.7)

AACR2…2002年版。地図資料・電子資料・逐次刊行物が改訂の対象。

NCR1987年版…改訂2版(2001)、改訂3版(2006)。書写資料・電子資料・逐次刊行物が改訂の対象。

・部分的改訂の限界

現行の資料種別による章立てに難点…複数の区分原理(形態、表現手段など)が交錯(例:地図帳)。複数の資料種別にまたがる電子資料の出現(例:電子化された地図)いつ新しい書誌レコードを作成するかについての規定の欠如…内容が変わる版と、媒体が変わる版が錯綜[cf. 本論 1]。

・図書館界外の隣接領域との相互利用性(interoperability)の意識の芽生え…自己完結から脱却し、文書館・博物館との連携(MLA連携)を支えるための目録の追求。

4. 新しい目録のための、新しい目録規則の模索

1) *The Functional Requirements for Bibliographic Records*『書誌レコードの機能要件』³(1997)

- ・目録規則ではなく、今後の目録規則の基礎になる枠組み(概念モデル)。
- ・目録に関わる世界の構造の実体関連分析。以後「FRBR」と略。
- ・モデルは、①実体(下記枠内、3つのグループ)、②各実体の属性、③実体間の関連から成る。
実体の第1グループ…目録が扱う資料を4実体(抽象→具体)として把握[cf. 序論 1]。

著作(work) ……知的・芸術的創造の成果

└ 表現形(expression) ……著作の文字等による表現。内容の異なる版

└ 体現形(manifestation) ……表現形の物理的な具体化。形態のみ異なる版

└ 個別資料(item) ……体現形の個々の例

著作：J.K. ローリング作の Harry Potter and the Half - Blood Prince

表現形 1：原文

同 2：松岡佑子訳の『ハリー・ポッターと謎のプリンス』

体現形 1: Bloomsbury社刊行の版

同 2: 静山社刊行の版

個別資料 1：群馬大学図書館本館開架 図書ID 000600319/20

同 2：群馬大学図書館工学分館 図書ID 220609001/02

3 原文：<http://www.ifla.org/VII/s13/frbr/frbr-jp.pdf>

邦訳：和中幹雄ほか訳『書誌レコードの機能要件』日本図書館協会, 2004 121p

http://www.jla.or.jp/mokuroku/frbr_japanese.pdf

実体の第2グループ…資料に関わる行為主体（**個人**、**団体**）

実体の第3グループ…資料の内容に関わる主題（**概念**、**物**、**出来事**、**場所**）

- ・関連の例（個人・団体）…著者は著作と、訳者は表現形と、出版社は体現形と、所蔵者は個別資料と関連をもつ。

2) 「国際目録原則」

通称「パリ原則」(1961)の改訂版。目録規則の国際的な枠組み [cf. 序論 3]。

4. 目録の目的および機能

目録は、利用者に次のことを可能にする、有効かつ効率的な道具であるものとする。

4.1. その資料の属性または関連を探索に用いた結果として、あるコレクションの中で書誌的資源を発見すること。

4.1.1. これにより、単一の資料を発見すること

4.1.2. これにより、次に相当する一群の資料を発見すること

同一の著作に属するすべての資料

同一の表現形を具体化するすべての資料

同一の体現形を例示するすべての資料

特定の個人、家族、または団体に関係するすべての資料

特定の主題に関するすべての資料

探索結果の二次的な限定のために通常用いられるその他の判断基準（言語、出版地、出版年、内容種別、キャリア種別、その他）によって特定されるすべての資料

3) RDA: Resource Description and Access (2010)

『英米目録規則第2版』(AACR2。NCRの直接のモデル)の後継規則。⁴

・目標

全ての資料 (resource) の記述 (description) とアクセス (access) に関する標準であること。catalogue や cataloguing が含まれないことに注意 [cf. 本論 3]。

新しい構造のデータベースに対応できること。

メタデータ [cf. 序論 4] との調整を図ること。

図書館界外の世界との相互利用性を図ること [cf. 本論 3]。

AACR2との継続性を確保すること（体現形が記述の基盤）。

・特徴

4 詳細は、古川肇「書誌レコードおよび典拠レコードに関する規則の成立－RDAの完成－」『資料組織化研究-e』59 :13-32 (2010.12) <http://ojs.info.gsucc.osaka-cu.ac.jp/TS/index.php/TS/article/viewFile/37/75>

全体…FRBRに忠実に構成した。構文の側面を規則の範囲外として [cf. 序論 4]

各目録作成機関の工夫に任せる一方、典拠レコードを範囲内とした。コア・エレメント（必須事項）を規定した。

記述…資料種別による章立てを止め、エレメント（例：責任表示）別に規定した。

資料種別を再構成した*。新たに粒度（記述の対象）について規定した。責任表示に関して、著者の数を問わずすべて記録することを本則とした。従来の注記を極力エレメント化し機械可読性の向上を図った。

標目…全タイトル標目の統一標目化を図った**。家族を団体から独立させた（書写資料への対応か）。

関連…旧来の相互参照を一新し、実体間の関連として体系化した***。さらにその種類等を関連指示子により示すこととした。

*内容的側面（表現手段による区分。text, image など）と物理的側面（読み取り機器による区分（?）。audio, computer など）を組み合わせて表示。

** 「著者（creator）＋タイトル」の形。例：Hemingway, Ernest, 1899-1961. Sun also rises

***(1) 著作・表現形・体現形・個別資料の間の関連 [cf. 本論 4 1])、(2) 資料と個人・

家族・団体との間の関連、(3) 著作相互・表現形相互・体現形相互・個別資料相互の間の関連（等価、派生、記述、全体・部分、付随、連続）、(4) 個人・家族・団体の間の関連など。NCRにおける「書誌階層構造」は、体現形相互の全体・部分の関連に当たると考えられる。

・米国議会図書館による適用…On the Record では、RDAがまだ草案の段階に、「RDAの利点は、これまでに見られる草案では認識できない。」としてRDAに関する作業の一時中止を勧告した。これを受けて米国議会図書館は、RDAの完成後に適用可能性に関するテストを行うとの方針を立て実施した。その結果、かなりの手当てが必要と判断し、適用は2013年以降と決定した。

4) ISBD 統合版 (2011)

1969年以來の各種ISBD（国際標準書誌記述）を一本化した。RDAと同じくエレメント別に規定した。（本日は省略）

5. NCR 201X年版への発進⁵

1) 目標

- ・FRBRモデルに基づきながら、従来の目録からの継続性を保つことができ、日本で現実に使用可能な規則とする。
- ・書誌階層の考え方を継承し、典拠コントロールを重視しつつも日本の状況を踏まえて現実的に対応

5 日本図書館協会目録委員会『『日本目録規則』の改訂に向けて』(2010.9)

<http://www.jla.or.jp/mokuroku/20100917.pdf>

し、和古書漢籍を十分に扱え、日本語資料の豊富な実例を挙げることに留意する。

- ・ウェブ環境に適合した実務的な目録規則とし、規則自体の提供方法を工夫する。
- ・「目録は、資料のもつ潜在的利用可能性を最大限に顕在化する道具であるべきことを改めて確認したい。」

2) 範囲

- ・エレメントの定義に限定する。エリアやエレメントの順序については原則として規定しない。注記を精査の上、多くをエレメント化する。コア・エレメントについての規定を設ける。区切り記号は規則内で規定せず、付録で推奨あるいは参考として扱う。
- ・典拠レコードのエレメントを含める。
- ・排列（現NCR 第三部）は基本的には扱わない。付録とする可能性については検討する。

3) 内容

- ・全体…基本記入方式か記述ユニット方式かの問題については、FRBR の実体の第1グループ（著作、表現形、体現形、個別資料）と第2グループ（個人、団体）の関連をどのようにとらえ新NCRの中に位置づけるか、という問題に置き換えて検討し明確にする。
- ・記述…体現形を書誌レコードの基盤として継続性を確保する。基礎レベルの概念を維持する。継続刊行レベルなど規定の整理が不十分なところは改善する。構成書誌レベルの記述規則を詳細にして、論文等の著作を十分扱える規則とする。
- ・標目および典拠コントロール…集中機能のための典拠コントロールに関する規定を重視する。特に従来の「統一タイトル」について新しい視点から規定し、著者や付記事項を必要に応じて加えることも、形を簡略化することも可能とする。
- ・関連…RDAの体系を参考とする。書誌階層構造の概念がFRBRの規定する関連の一種（全体と部分）であることを確認して、関連全体の規定へ拡張する方向で改訂する。
- ・付録…国際的なあるいは外国の規則との対照表（マッピング）を含める。

6. 引き続き追求すべき課題

1) 著作の顕在化（切り出し）の徹底…合集*（collection, aggregates）の処理が焦点 [cf. 本論 1]。

* 「1または2以上の著者（中略）のいくつかの著作を集めたもの。「全集」、「選集」、
「著作集」、「論集」（中略）などの名称が多く用いられる。」（NCR）

2) 典拠コントロールの強化…著者からタイトルへの拡大

3) 目録の機械可読性の向上

*セマンティック・ウェブ…ネットワーク情報資源に意味を付与することで、コンピュータ自体が処理できるようにするための技術。コンピュータが意味を理解するために、メタデータとオントロジー（基本概念・語彙の体系）を付与する。

4) 質的向上と効率化の同時実現…分担目録作業から集中目録作業への接近ないし転換(？)

5) 明日からでも可能な改善

それは、内容細目(NACSIS-CATでは内容著作)への入力 ⇒ 資料

NACSIS-CATでは低調。

例：NACSIS-CATにおける『芥川龍之介集』の内容著作

『芥川龍之介集』の合計	36	書誌レコード
内訳 入力あり	14	
「～ほか〇篇」	3	
<u>入力なし</u>	<u>19</u>	(2011年8月7日現在)

7. 我々の姿勢 – 結論に代えて –

- ・「実務を優先し理論を軽視する姿勢が、実は実務がうまくいかない元凶ではないか？」(藤倉恵一「図書館資料の分類を考える」大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 平成21年8月25日)
- ・細部を揺るがせにすることなく、基本的な在り方に関心をもつ。

以上

資料

内容細目記録範囲の拡大について (国立国会図書館『全国書誌通信』118(2004.6) p.3)

資料を構成する著作(資料の中身の一部分で、固有のタイトルをもつ著作)についての注記である内容細目については、これまで一定の基準を設けて記録してまいりました。平成16年度から、記録する対象を拡大しましたのでお知らせいたします。(中略)

(表) 内容細目を記録する資料

従来記録対象資料	平成16年度から追加した記録対象資料
記念論文集(初出論文を収録したもの)	論文集
短編集、戯曲集、全集、作品選集などの文学作品集	講演集、シンポジウム記録集、会議録(中略) 連作小説集、掌編小説集・ショートショート集
かつて単行書として刊行された著作	著作集、随筆集、評論集 章立ての構成であっても、 <u>個別の著作と判断できるもの</u> 講座もの(以下略)

(下線は引用者)

トピックス 群馬県立女子大学

本学図書館では所蔵資料の紹介と利用促進を目的として1～3カ月ごとに展示替えをしながら、図書館エントランスホールで企画展示を行っています。今年度は合計4回の企画展示を開催したのでご紹介します。

●第1回企画展示『地震と情報』(5～7月)

昨年の3.11東日本大震災の発生後、震災被害以外にも原発問題、エネルギー問題、買占め問題など様々な問題が起きました。この企画では冷静に事態を判断するために、氾濫する情報に流されるのではなく、しっかりと自分達で情報を選択できるようになってほしいという趣旨のもと、地震、津波、原発などをキーワードとした関連図書を展示しました。壁面には地震発生翌日の各紙トップ面を貼り、報道のされ方の違いを目で見てわかるようにしました。また、レポート作成時に活用してもらうために本学図書館購読雑誌に掲載された関連特集記事の目録リストを作り配布しました。

●第2回企画展示『群馬にゆかりのある作品』(10～11月)

本学は学生の約半分が県外出身者です。そこで、群馬をより深く知ってもらうために群馬出身の作家の作品や群馬を舞台とした作品を集めて展示しました。群馬の文学地図を利用してポスターを作成し、県内の観光案内マップの役割も兼ねて、赤城神社や子持神社、前橋文学館を回り文学碑などを撮影した写真も貼りました。



●第3回企画展示『辛亥革命と孫文』(12月)

「辛亥革命」100年にあたり、孫文と同革命に関する本を集めました。堅いテーマでしたが「辛亥革命」をテーマにしたジャッキー・チェン主演映画『1911』が公開中でしたので、映画ポスターと一緒に貼るなどして学生の興味を引くための工夫をしました。

●第4回企画展示『猫好きのあなたに…猫・ネコ・ねこ展』(1～3月)



第1～3回までの企画内容が堅いものが多かったので、資料的にもビジュアル的にも柔らかいものという事で『ねこ』をテーマに選びました。絵本、小説、画集等の関連図書を展示した他、群馬大学落合延孝先生著作『猫絵の殿様』が採り上げられたNHK Eテレ『極める!とよた真帆のネコ学』の番組情報の紹介もしました。図書館スタッフが飼っている猫の写真を使ってミニ写真展も同時開催したところ、かわいい猫たちの写真に学生たちも足を止めていました。

企画展示を考える時には旬なテーマを選び、ただ資料を並べるのではなくプラスαを付け足し、より魅力的な展示を行うよう心がけています。最近では学生からこんな企画展示をしてほしいというリクエストも寄せられるようになり、少しずつ学生の反応が見えてきました。展示の企画は図書館業務内のほんの一部に過ぎませんが、学生へ図書館をアピールできる大切な業務であると改めて感じています。利用者にとって親しみやすい、利用しやすい図書館を目指してこれからも試行錯誤を続けていきたいと思えます。

トピックス 育英短期大学図書館

「学生の時に読みたい100冊の本」2011年12月15日発行

* 当館では学生の教養教育推進のため、上記リストを冊子発行し、学生・父兄・教職員に配布しました。

内容は、教職員より推薦された作品の中から、図書・紀要委員会で102冊を選定、「日本文学」「英米文学」「ドイツ文学」「フランス文学」「ロシア文学ほか」「言語・情報・学び」「哲学・心理」「社会科学・歴史」「子ども」「自然科学・技術」のジャンルに分け、推薦者の「ひとこと」を添えたものです。このリストの本は館内に別置配架してあり、今後の教養教育に活用していきたいと考えています。



大会報告

第9回群馬県図書館大会

開かれた図書館 ～「これからの図書館」を考える～

【基調講演】「1冊の本との出会いで人生は変わる」

(県立ホール) 喜多川 泰 氏

【第1分科会】「障害者サービスを考えよう」

(県立ホール)

【第2分科会】「震災、図書館でできること」

(放送大学群馬学習センター第1講義室)

【第3分科会】「展示は見せるレファレンス」

(放送大学群馬学習センター第2講義室)



基調講演



第1分科会



第2分科会



第3分科会

編集後記

今年度の事業のひとつに挙げられた「群馬県地域共同リポジトリ」の名称も「AKAGI」に決まり、現在試験公開中ですが、詳細につきましては次号でご紹介する予定です。また、昨年8月をもって創造学園大学が本協議会を退会され、加盟21大学等、27館の新体制となりましたが、今後とも相互協力の一層の推進を図っていかれたらと思っております。